

平成 31 年 3 月 8 日

## 大阪経済記者クラブ各位

«同時資料提供»  
大阪府政記者会  
大阪市政記者クラブ

大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課  
大阪市 経済戦略局 文化部 文化課  
公益財団法人 関西・大阪 2 1 世紀協会

### 平成 30 年度大阪文化祭賞受賞者の決定、贈呈式のご案内

大阪府、大阪市及び公益財団法人関西・大阪 2 1 世紀協会では、芸術文化活動の奨励と普及を図り、大阪の文化振興の機運を醸成することを目的に、大阪府内で上演された公演の中から優れた成果をあげたものに対して「大阪文化祭賞」を贈呈しており、今年で 55 回目の開催となります。

このたび、平成 30 年に大阪府内で開催された公演を対象に、独創性に富み、企画・内容・技法が総合的に優れていること等について審査をいたしました結果、各賞を決定いたしました。

つきましては、「平成 30 年度大阪文化祭賞」各賞受賞者への贈呈式を下記のとおり開催し、受賞者による受賞記念公演も実施いたします。

報道関係の皆様方には何かとご多端の恐れ縮ですが、当賞の趣旨に鑑み、広く告知・ご取材等のご協力を賜りたく、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

#### 1. 平成 30 年度大阪文化祭賞 贈呈式 開催概要

- (1) 日 時 平成 31 年 3 月 15 日 (金) 14 : 00 より  
(13 : 30 受付開始、13 : 50 開場)
- (2) 会 場 リーガロイヤル NCB 2 階 淀の間  
大阪市北区中之島 6 丁目 2 - 2 7 TEL/0 6 - 6 4 4 3 - 2 2 5 1  
14 : 00 ・開式・あいさつ  
14 : 15 ・賞の贈呈  
14 : 55 ・受賞者記念公演  
浦田保親様  
・閉式  
15 : 05 ・記念写真撮影

なお、贈呈式後に下記の通り交流会を開催いたします。

- 【交 流 会】 会 場 リーガロイヤル NCB 2 階 淀の間(贈呈式会場内)  
15 : 10 ・交流会  
16 : 00 ・終了予定

## 2. 平成30年度大阪文化祭賞 受賞者

### 大阪文化祭賞

- ・ **坂東竹三郎**  
七月大歌舞伎「女殺油地獄」の成果
- ・ **六代目笑福亭松鶴生誕百年祭実行委員会**  
「六代目笑福亭松鶴生誕百年祭」企画の成果
- ・ **尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団**  
「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」の成果

### 大阪文化祭奨励賞

- ・ **浦田保親**  
第656回大槻能楽堂自主公演能「俊寛」の成果
- ・ **水野箏曲学院**  
「MIZUNO KOTO ACADEMY ORIGINAL CONCERT vol. 1 4」  
の成果
- ・ **人形劇団クラルテ**  
第117回公演創立70周年記念公演「はてしない物語」の舞台成果
- ・ **空晴**  
第17回公演「となりのところ」の舞台成果
- ・ **日本センチュリー交響楽団**  
「センチュリー・ジャズ・ナイト Vol. 3」の成果
- ・ **DANCE PROJECT 218.**  
「HAMLET」の成果

※副賞賞金として、大阪文化祭賞20万円、大阪文化祭奨励賞5万円がそれぞれ贈られます。

※各受賞者の受賞理由・略歴等は別添資料をご参照ください。

## 《各受賞者の受賞理由・略歴》

### 大阪文化祭賞 3件

#### 坂東竹三郎

#### 七月大歌舞伎「女殺油地獄」の成果

(ぼんどうたけさぶろう/しちがつおおかぶき「おんなごろしあぶらのじごく」のせいか)

(第1部門：伝統芸能・邦舞・邦楽)

坂東竹三郎氏は、大阪松竹座「七月大歌舞伎」で上演された「女殺油地獄」の母おさわで、主人公の放蕩息子、与兵衛に対する愛情を複雑な家庭環境をにじませながら、いかにも義太夫狂言らしい情の深い演技で表現、作品世界に大きな説得力をもたらした。そもそも竹三郎氏は上方歌舞伎のベテランで、「引窓」のお幸、「すし屋」のお米など義太夫狂言における老母役や、「封印切」のおえんをはじめ遊廓を舞台にした作品の花車方などで、その人物の背景や生活、上方のにおいまで感じさせ、舞台に奥行きを与えている。いまや上方歌舞伎になくてはならない貴重な存在である。歌舞伎は、主役がよければいいというものではなく、脇の役者がどれほど作品世界の雰囲気醸し出せるかも大切だ。その意味で、竹三郎氏の上方歌舞伎における功績は偉大である。この機会にこれまでの功績もふくめて、大阪文化祭賞を贈呈したい。



【略歴】昭和7年8月4日生まれ。昭和24年5月尾上笹太郎を名乗り大阪中座「盛綱陣屋」の腰元にて初舞台。昭和34年9月三代目坂東新車と改名し、名代昇進。昭和42年3月四代目尾上菊次郎の名前養子となり、朝日座「吉野川」の久我之助ほかで五代目坂東竹三郎を襲名。上方歌舞伎の和事の魅力を現代に伝える貴重な存在である。以前は美貌の女方で二枚目も。近年は花車方にまわり、「封印切」のおえんや「雁のたより」のお玉などで色街の味を濃厚に漂わせるとともに、「輝虎配膳」の越路や「仮名手本忠臣蔵」六段目のおかやなどで存在感を発揮している。昭和53年より上方舞の東村山流の2世家元となり山村太鶴を名乗る。

## 六代目笑福亭松鶴生誕百年祭実行委員会

### 「六代目笑福亭松鶴生誕百年祭」企画の成果

(ろくだいめしょうふくていしよかくせいたんひやくねんさいじっこういんかい/「ろくだいめしょうふくていしよかくせいたんひやくねんさい」きかくのせいが)

(第2部門：現代演劇・大衆芸能)

桂米朝、三代目桂春団治、五代目桂文枝とともに「上方四天王」と称され、戦後、衰退した上方落語を牽引し、現在の隆盛に導いた六代目笑福亭松鶴。中でも松鶴はリーダー的な存在として辣腕を振るい、定席の開席や多くの弟子の育成など多大な功績を残した。2018年が松鶴の生誕100年、そして三十三回忌にあたることから、9月5日の命日に合わせて、東西の弟子のほぼ全員の約70名が集った「六代目笑福亭松鶴生誕百年祭」が天満天神繁昌亭と動楽亭で開催された。直弟子が日替わりで出演した3夜連続の会や、1週間にわたって松鶴一門のみが出演した昼席、孫弟子や玄孫弟子らによる「笑福亭若手会」ではそれぞれが個性あふれる高座を披露。舞台上語られた思い出には亡き師匠への感謝や深い愛があふれていた。同時に写真や手紙などの口ビー展示も行なう「笑福亭一色」のまたとない一大イベントを実現させ、改めて六代目笑福亭松鶴の偉大さを世に示し、伝えた。



#### 【略歴】

実行委員会会長 笑福亭鶴笑

兵庫県朝来市出身。昭和59年6代目笑福亭松鶴に入門。

受賞歴/平成5年ABCお笑い新人グランプリ優秀新人賞、平成15年芸術選奨文部科学大臣新人賞、平成20年繁昌亭大賞爆笑賞、平成27年パペット落語が厚労省児童福祉文化財特別推薦に認定。

「師匠の百歳をお祝いするにあたり、師匠が一番喜んでくれることは何かと考えました。それは生前の松鶴が熱望していた落語の定席で、一門とファンが一つになることではないか。不可能とされている一門の大結集、松鶴一門誰も欠けることなく全員でお祝いしたいという思いから、この企画を立案しました。総勢70余名の松鶴一門が一枚岩となった繁昌亭で、前代未聞の圧倒的なスケールで実現した生誕祭を師匠はきっと喜んでくれたと思います。皆さん有難う御座いました。」

## 尾高忠明指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」の成果

(おだかただあきしき おおさかふいはーもにーこうきょうがくだん/「ベーとーヴえんこうきょうきよくぜんきよくえんそ  
うかい」のせいが)

(第3部門：洋舞・洋楽)

尾高忠明と大阪フィルハーモニー交響楽団は、尾高が音楽監督に着任した初年度に、定期演奏会とは別に、指揮者にとっても、オーケストラにとっても、その真の実力が問われる試金石ともいべきベートーヴェンの交響曲全曲演奏会を5回にわたって挙行し大きな成果を上げた。ベートーヴェンの交響曲演奏においては、編成を小さくし、楽器も奏法もピリオド・スタイルにするやり方が主流をなしつつある現在であるが、むしろこのコンビは、100名近くの大編成のモダン・オーケストラによる既存のスタイルによる演奏を敢行し、作品の真の価値や意味は、演奏スタイルをも超えて明らかにされるものであることを明確に示した。その極めて高い完成度と成熟度を持った比類のない解釈は、近年希にみるほど感動的かつ意義深いものであり、この成果を高く評価するとともに、ベートーヴェンの交響曲の意義を聴衆に再認識させた業績は絶大であり、大阪文化祭賞を贈呈する。



©Martin Richardson



©飯島隆

### 【略歴】

尾高忠明（指揮）

現在、大阪フィル音楽監督、NHK 響正指揮者、BBC ウェールズ・ナショナル管桂冠指揮者、札幌響名誉音楽監督、東京フィル桂冠指揮者、読売日響名誉客演指揮者、紀尾井ホール室内管弦楽団桂冠名誉指揮者。平成9年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを、11年には英国エルガー協会より日本人初のエルガー・メダルを授与された。

大阪フィルハーモニー交響楽団

昭和22年「関西交響楽団」という名称で設立、35年改称。創立から平成13年までの55年間朝比奈隆が音楽総監督を務めた。平成29年には楽団創立70周年記念公演「バーンスタイン／ミサ」（指揮：井上道義）の上演が評価され、文化庁芸術祭優秀賞、大阪文化祭賞ほか数々の賞に輝いた。平成30年4月、尾高忠明が音楽監督に就任。

## 大阪文化祭奨励賞 6件

### 浦田保親

#### 第 656 回大槻能楽堂自主公演能「俊寛」の成果

(うらたやすちか/だいろっぴやくごじゅうろっかいおおつきのうがくどうじしゅこうえんのう「しゅんかん」のせいいか)

(第 1 部門：伝統芸能・邦舞・邦楽)

その質の高さで全国的に注目されてきた大槻能楽堂自主公演能で「俊寛」を演じた浦田保親は、絶海の孤島に一人残される運命を暗示する冒頭の謡を説得力ある謡によって示し、以下、赦免状を見返す場面から船が遠ざかってゆく終曲までを、師大槻文藏率いる地謡の力もあって、弛緩なく演じきった。その舞台は大阪文化祭奨励賞に値するものである。



【略歴】観世流能楽師シテ方。昭和 42 年京都生まれ。幼少より父保利、長じて大槻文藏師に師事。3 歳で初舞台。以後数多くの子方を演ずる。10 歳で初シテ。その後、石橋・道成寺・翁・安宅・求塚等の大曲を演ずる。(公財)京都観世会理事・(一財)京都能楽会理事。「ちかの会」「保親浦声会」等主宰。重要無形文化財総合指定保持者。

### 水野箏曲学院

#### 「MIZUNO KOTO ACADEMY ORIGINAL CONCERT vol. 1 4」の

#### 成果

(みずのそうきょくがくいん/「みずのことあかのみーおりじなるこんさーとほりゆーむふおーていーん」のせいいか)

(第 1 部門：伝統芸能・邦舞・邦楽)

140 曲以上を世に送り出している邦楽作曲・演奏者の水野利彦が主宰する水野箏曲学院が催す演奏会で、彼の新作や指導する若手達の作品等が大阪で発表される貴重な機会。水野曲の特徴は難解なイメージが強い現代邦楽を、「音楽」として奏者にも聴衆にも取り戻したことにある。大阪での活動継続と関西における現代邦楽発展の期待を込め、会全体の成果として贈る。



【略歴】邦楽作曲家水野利彦が主宰する箏曲の演奏家、愛好家の団体。札幌、仙台、東京、大阪、福岡にスタジオを開き、箏曲の普及のために、演奏や教授活動を行っている。箏曲のイメージを変える様々なジャンルの曲を創作、演奏。門下生からプロの作曲家、演奏家も育てている。

## 人形劇団クラルテ

### 第117回公演創立70周年記念公演「はてしない物語」の舞台成果

(にんぎょうげきだんくらて/だいひやくじゅうななかいこうえんそうりつななじゅうしゅうねんきねんこうえん「はてしないものがたり」のぶたいせい)

(第2部門：現代演劇・大衆芸能)

ミヒヤエル・エンデによるファンタジーの傑作「はてしない物語」を人形劇化。独創的な約30体の人形と美しい舞台美術、ダンサーの身体表現を通して観客の想像力を喚起し、主人公の少年の心の軌跡を細やかに描き出して、共感できる作品に仕上げた。70年に及ぶ劇団の歴史の中で磨かれた技法を伝承しつつ、新たな表現に挑んだ姿勢は高く評価できる。



【略歴】昭和23年戦後すぐの大阪で劇団設立。クラルテはフランス語で光という意味。大阪市住之江区にアトリエを置き、全国の保育園や小学校、大型劇場で夢と希望のある人形劇を上演。毎年秋には近松門左衛門作品など大人向けも制作。人形劇ならではの舞台、心に響くドラマを目指す。

## 空晴

### 第17回公演「となりのところ」の舞台成果

(からっばれ/だいじゅうななかいこうえん「となりのところ」のぶたいせい)

(第2部門：現代演劇・大衆芸能)

劇作家・演出家の岡部尚子が主宰する空晴。2007年に旗揚げし、作風は家族の日常をあたたかく映す、関西弁の会話劇で繰り広げる。今作では、テーマの枠を広げて「ご近所」に焦点を当て、隣りあう3軒の家を舞台に人々の人間模様を描いた。登場人物の内面や他者とのやりとりが細やかに映し出された舞台が共感性を生みだし、さらなる成長を感じさせる。



【略歴】平成19年旗揚げ。岡部尚子による作演出作品を上演する劇団。ネイティブな大阪弁で紡ぎだす、派手ではないが静かでもないホームコメディ作品を大阪や東京だけでなく、福岡、北海道など他都市にも劇団側から赴き精力的に公演。誤解や勘違いをふんだんに取り入れた笑いの中に、じんわりと染み入る人の優しさに触れられる作風が特徴。

## 日本センチュリー交響楽団

### 「センチュリー・ジャズ・ナイト Vol. 3」の成果

(にほんせんちゅりーこうきょうがくだん/「せんちゅりー・じゃず・ないとぼりゅーむすりー」のせいか)

(第3部門：洋舞・洋楽)

日本センチュリー交響楽団の首席奏者4人が、コンサートホールでジャズやロック的な曲に取り組む斬新な室内楽シリーズを始めた。第3回公演はジェネシスなどプログレッシブ・ロックの名曲を中心に熱のこもった演奏で客席を沸かせた。初回から完売続きで、若い聴衆が目立つのも特徴。集客の難しい室内楽公演の可能性を広げる企画として評価したい。



【略歴】平成元年に活動を開始し、平成31年に楽団創立30周年を迎える。現在は50名のメンバーが在籍。飯森範親が首席指揮者を務め、多彩な活動を行っている。音楽の殿堂ザ・シンフォニーホールや新しくオープンした豊中市立文化芸術センターなどで定期的に演奏する他、地域発展や教育プログラムにも力を入れている。

## DANCE PROJECT 218.

### 「HAMLET」の成果

(だんす ぷろじえくと にいや/「はむれっと」のせいか)

(第3部門：洋舞・洋楽)

新作バレエ制作の環境が厳しい中で、ハムレットという大作を吹田市文化振興事業団と共に世に問うた新屋の情熱を、まず高く評価したい。ハムレットの矢木一帆をはじめ、関西の優れた15名のダンサーが、混成とは思えぬ団結力で、求心性が強く見ごたえのある舞台に仕上げた成果は、バレエの未来に光明を感じさせた。舞台、照明も美しかった。



【略歴】渡バレエ学校でバレエを始め、覚心浩詞に師事。関西を中心に活動、後にコンテンポラリーダンスに出会い、独自の創作活動を行う。平成24年ドイツ・レーゲンスブルグ森優貴氏のカンパニーに短期研修。平成25年メシアター開館30周年記念創作舞踊「飛躍」の依頼を受け振付。



…大阪文化祭賞とは…

大阪文化祭賞の創設は昭和38年にまで遡り、これまで多くの芸術家、実演家が受賞しています。関西の著名な芸術家・文化人・ジャーナリストが、第1部門「伝統芸能・邦舞・邦楽」、第2部門「現代演劇・大衆芸能」、第3部門「洋舞・洋楽」の3部門について、公演を審査し、大阪文化祭賞、大阪文化祭奨励賞を選考します。

---

※写真はデジタルデータもごさいます。ご入用の際はE-mailでお送りいたしますので、下記事務局まで電話またはE-mailにてご連絡ください。

■この件に関するお問い合わせ先■

【大阪文化祭賞事務局】

公益財団法人関西・大阪21世紀協会 文化事業部 北野

e-mail / kitanoy@osaka21.or.jp

TEL/06-7507-2002 FAX/06-7507-5945